

## ○ 課題及び今後の方向性に対する令和3年度の取組み

### (1) 帯広の明日を拓く力の育成

#### ① ふるさと教育の推進

主な取組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○「おびひろ市民学」による学びをすすめるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」関係団体の新規協力の拡充。地域の動物をテーマとした講座の実施(おび Zoo 寺子屋アライグマ編、野鳥編、小学生のための動物園塾)。博物館講座、自然系出前講座の実施
食を通じたふるさと理解の促進	○「ふるさと給食」の提供や、「ふるさと農園」「おびひろ市民学」の取組みを活かした地域産業への理解を深める教育をすすめる	○栄養教諭や食育指導専門員による「帯広らしい食育プログラム」の実施。地元の農業関係者等と連携し、地元産野菜の導入促進
地域社会に参画する意識の醸成	○リーダー養成事業の周知に加え、事業内容自体を子どもたちの興味を引くよう工夫し、今の時代に合った養成事業の充実をはかる ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育をすすめる	○活動の周知や内容に応じて必要となる感染症対策を行い、青少年リーダーを養成 ○小中学校における租税教室や防災教室の実施
環境教育の推進	○帯広の自然や施設を活用した体験機会や、学校以外の教育施設を活用し地域の自然環境を学ぶ機会を設ける	○科学教室・工作教室、地質講座、自然系出前講座の実施。各教科の学習や児童会・生徒会活動を通じて、実社会との結びつきを意識した教育の実施

#### ② 職業観の育成

主な取組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」を活用し、新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、情報共有をすすめる	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」の継続活用。キャリア意識の向上による社会的・職業的自立に向けて各校へ指導・助言 ○キャリア教育の実践について、小中連携をはじめとする学校間連携が十分にはかれるよう情報共有

職業体験機会の充実	<p>○おびひろキッズタウンについては、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施する</p> <p>○図書館において、感染症流行の状況に応じて、電話による職場インタビュー等の対応を検討する</p> <p>○百年記念館において、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続する</p> <p>○動物園における飼育体験等の事業は引き続き内容の充実に向けて取り組む</p>	<p>○おびひろキッズタウンは感染症拡大の影響により中止</p> <p>○図書館での職場インタビューは感染症の拡大時期を外して、短時間・対面により実施</p> <p>○百年記念館でのインターンシップは感染症拡大の影響により中止</p> <p>○動物園では小学生の1日飼育係、親子で飼育体験、インターンシップ、キャリア教育（講話）の実施</p>
-----------	---	---

### ③ 情報教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実践
情報活用能力の育成	<p>○ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携しICTの活用に関する学習をすすめる</p>	<p>○一人一台端末を使用したICTの活用に関する学習の実施</p>
情報モラルの育成	<p>○関係機関と連携し、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む</p>	<p>○関係機関との連携による講演会の開催。販売店への立入調査の実施</p>
プログラミング教育の推進	<p>○プログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する</p>	<p>○一人一台端末を活用し、発達段階に応じたモデル授業や校内実技研修の開催。プログラム体験の実施</p>

### ④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実践
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	<p>○外国語指導講師の活用に向けた研修を行い、授業力の向上をはかる</p> <p>○外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかる</p>	<p>○小学校における外国語専科教員の配置。外国語指導講師の授業力向上をはかる研修の実施</p> <p>○実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかる授業の実施</p>
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	<p>○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる</p>	<p>○中学生の外国語のサポート学習の実施。長期休業期間等における外国語指導講師による教材作成の補助。森の交流館・十勝等の地域の施設や人材の活用</p>

## ⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
商業教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて実践力を高める。多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む</li> <li>○感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定め、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が85%と、全道の商業高等学校のなかで最多</li> <li>○マディソン市派遣研修は感染症拡大により中止</li> </ul>
地域経済に貢献する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成の充実に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部講師によるマナー講習会の実施。進路指導教諭によるガイダンスの実施</li> </ul>
地域社会との連携・協働による教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクールの設置</li> </ul>
地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校開放講座については、リモートやオンラインでの開催等を検討する</li> <li>○感染症の状況に応じて安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携して取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校開放講座、生徒によるボランティア活動は感染症拡大により中止</li> <li>○学校ホームページによる情報発信</li> </ul>

## （２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

### ⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
学校における授業の工夫・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協動的な学びをすすめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題提示や考えの共有、振り返りの場面において、一人一台端末を活用した授業の実施</li> </ul>
学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一台端末で活用できる教材作りに取り組む</li> <li>○「ぶっくーる便」の計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する</li> <li>○感染症の流行による学校の学級閉鎖や臨時休業に備え、オンラインを活用した学びの保障をすすめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Chromebook と親和性の高いアプリケーションの開発。常時ダウンロード可能な小中学生向け教材のホームページへの掲載</li> <li>○「ぶっくーる便」の入替。絵本セットの導入</li> <li>○放課後学習会の開催。オンライン学習等での学びの提供</li> </ul>

教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実をすすめる	○「教育課程編成の手引き」の作成。 学校行事のあり方について方向性の共有
学力の分析・検証	○分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力検査の提供元を模索する	○検査母数の多い「標準学力調査」への変更
体験的・問題解決的学習の推進	○図書館では子どもたちが興味を持って意欲的に調べる学習につながるようなテーマを選定する ○児童会館では学校の二ーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する ○オンラインの活用等による実施方法の工夫をすすめる	○畜大連携事業「自由研究応援！むしの標本づくりにチャレンジ！！」の開催 ○科学実験・工作教室等の開催 ○オンラインを活用した施設見学の実施

### ⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
道徳教育の充実	○道徳科の授業改善や子どもたちの道徳性を育てる取り組みをすすめる	○校内外における教職員向け研修の実施。他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動の展開
読書活動の推進	○電子書籍の活用促進等による多様な読書機会の確保のほか、読書活動の活性化をはかる ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○朝学習等における電子書籍の活用。 図書ボランティアによる読み聞かせ活動の実施 ○「語り手育成講習会」における入門編、読書ボランティア応援編、ステップアップ編の実施
文化芸術活動の推進	○ICTを活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する。 ○各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等を通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめる	○子供向け鑑賞機会提供事業の実施 ○ICTを活用し、学習発表会や文化祭の様子を発信
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちに豊かな体験活動機会の提供に取り組む	○おびひろ市民学でのICTを活用したオンライン工場見学の実施。児童会館での科学教室・工作教室等の開催。百年記念館での親子陶芸教室、親子七宝教室、体験教室の実施。動物園での1日飼育係、親子で飼育体験の実施

### ⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
体力・運動能力の向上	○子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を通し、授業や生活習慣の改善をすすめる	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導の実施
安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の活用をすすめるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供による児童生徒の健全な心身の発達をはかる ○学校給食における食物アレルギー事故防止に向けて取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供。「給食だより」へのアレルギー情報の表示。
正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等資料の配付を通して、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成をすすめる ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食の映画会「映画 続・深夜食堂」の上映。食に関する展示の実施
健康教育・健康保持	○学校保健委員会の設置率向上に向けた取り組みをすすめる。 ○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付けることができるよう、発達の段階に応じた教育をすすめる	○学校保健委員会の設置目的についての通知および設置状況についての照会を実施 ○生理の貧困問題等についての情報交換等の実施。心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、国や道からの通知等の情報を提供

### ⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
教員の指導力の向上	○オンラインの活用等により学級経営・授業改善ワンポイント講座を実施する。教職員向けの研修については、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座を企画する	○「おび GiGA 支援員」の派遣やGoogle 本社から講師を招いた研修の実施。LGBT・ヤングケアラー等を取り上げた教職員研修の実施。指導主事による管理職や教職員への指導・助言。学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座の実施

教職員の働き方改革の推進	<p>○教職員の働き方改革について、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づき取り組む</p> <p>○教職員の業務効率化のため、校務支援システムの導入について検討する</p> <p>○教職員向けの研修については、オンラインの活用や対面方式での実施等、柔軟に対応できる体制作りを目指す</p>	<p>○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン(第2期)」の作成。帯広市HPで教育職員の時間外在校等時間の公表</p> <p>○令和4年度からの校務支援システムの導入へ向け検討</p> <p>○対面とオンラインを併用したハイブリッド方式による研修の実施</p>
--------------	---	--

### (3) 地域とともに育む教育の推進

#### ⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
地域における支援体制の充実	<p>○令和4年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入するほか、目指す子ども像を実現するため、指導主事による学校教育指導訪問時に全国の好事例の情報提供をすすめる</p> <p>○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組む</p> <p>○こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体同士の連携した活動の拡大をはかる</p>	<p>○コミュニティ・スクールの導入(17校)。コミュニティ・スクール通信の発行。指導主事による他校の好事例の提供</p> <p>○帯広市学校・家庭・地域協働会議や地域コーディネーター向け研修会の開催</p> <p>○こども学校応援地域基金を活用した活動への支援。支援周知のための広報おびひろ折込チラシの作成</p>
子どもの安全対策の充実	<p>○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる</p> <p>○通学路の安全確保ために、関係機関と情報の共有をはかり、危険個所の合同点検を実施する</p> <p>○登録者の確保により「子ども110番の家」事業の拡充をはかる</p>	<p>○登下校時の見守り活動の実施。「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した情報発信</p> <p>○通学路危険個所の点検と公表</p> <p>○「子ども110番の家」の設置(1,017か所)。登録者の拡大及び対応方法等を周知</p>
地域主体の体験活動への支援	<p>○子どもの居場所づくり事業において、実施方法やPR活動を工夫する</p> <p>○青少年育成団体の各事業において、感染症対策を講じたうえで子どもたちが魅力を感じられるよう取り組む</p>	<p>OPR 活動として、壁新聞を用いた展示の実施。運営委員会において各校の実施内容の共有</p> <p>○宿泊を日帰りにする等感染症対策を講じながら実施できるよう内容の検討</p>

## ⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
教育相談の充実	○教育相談員体制の充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめる	○家庭訪問相談員や心の教育相談員の配置。配置日数の調整や相談員会議等における研修の実施
家庭教育力向上のための支援	○食育や消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発をすすめるほか、「食育通信」の配付、図書館における絵本セットの内容の充実をはかる	○食育通信の配付。年齢別による絵本セットの貸出しの実施
P T Aとの連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携を深める	○帯広市 PTA 連合会へ補助金の支出や後援などによる支援の実施

## ⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び整備をすすめる ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業をすすめるとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有をはかる	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、教育課程の見直し及び整備の実施 ○職員間交流を通じた情報の共有
通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の見直し等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる	○「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく通学区域の整理及び検討。令和4年4月1日開校の大空学園義務教育学校における通学区域の見直し

## (4) 安全・安心な教育環境の整備

### ⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○いじめや人権について考え議論する場の設置。いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動。街頭巡回活動、声掛け指導の実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上をはかる研修や、個々に応じた相談体制の充実をすすめる	○関係機関との連携および教育相談員の専門性の向上をはかる研修の実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援をすすめる ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、「帯広市高等学校間口対策協議会」を通して、情報収集や要望活動を行う	○就学援助費の支給および奨学金の貸与 ○スクールバスの定期的な点検と修繕の実施 ○市内高校の間口の維持・確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」での情報収集
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の充実をはかるとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる ○教職員向けの研修により、LGBT等やヤングケアラー等の理解促進の取り組みをすすめる	○教育相談の実施。小中学校における特別支援学級の開設 ○LGBT等の当事者を招いた研修の実施

### ⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
学校施設の整備	○計画的かつ継続的な修繕により、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備をすすめる	○小中学校においては、大空学園義務教育学校改修工事、煙突用断熱材除去、ボイラー改修、トイレ洋式化、特別教室等網戸の整備。南商業高等学校においては、トイレ洋式化、屋内運動場バスケットゴール修繕、特別教室と屋内体育館への無線 LAN 整備、特別教室等への網戸の設置

学習環境の整備	<p>○小中学校においては、一人一台端末の活用範囲を拡大しながら、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成をはかる</p> <p>○南商業高等学校においては、商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、第一情報処理室等の情報機器の整備をすすめる</p>	<p>○一人一台端末の持ち帰りによる、自宅学習での活用。学校 ICT ヘルプデスクの設置</p> <p>○経済事情等によりコンピュータ端末やルーターの用意が困難な家庭の生徒に貸与するためのタブレット端末の整備</p>
学校適正規模確保の推進	<p>○児童生徒数及び学級数を推計し、その結果を市民へ情報提供する</p> <p>○「前期対象校」である大空中学校の具体的な取り組みをすすめ、対象校以外の学校についても、学校の小規模化による影響の緩和をはかる</p>	<p>○児童生徒数及び学級数のホームページ上での公開</p> <p>○大空中学校は大空小学校との施設一体型義務教育学校開校に向けて準備。対象校以外の小規模化による影響の緩和をはかるため、近隣校における交流授業の実施</p>

## (5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

### ⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取り組み
学習機会や情報の提供	<p>○市民が参加しやすい学習機会を設けるほか、生涯学習情報誌「まなびや」により広く情報を提供する</p> <p>○図書館では、必要な情報を引き出しやすい仕組みづくりの検討をすすめる</p> <p>○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画をすすめる</p> <p>○動物園では、従来の取り組みを継続しつつ、利用者のニーズに沿った効果的な事業となるよう取り組む</p>	<p>○市民大学講座の実施。生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行</p> <p>○帯広市電子図書館の開設。開館100周年記念誌の電子化</p> <p>○博物館講座や陶芸教室の実施。リウカHPのリニューアル及びアイヌ文化モバイルガイドの公開</p> <p>○対面形式の講座に加え、臨時閉園期間中のオンライン講座の実施</p>

## ⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
自主的な学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館では、帯広図書館友の会の役員と情報交換しながら連携を深める</li> <li>○百年記念館では、ボランティア活動を行う人員の充実と知識向上のために学習の機会を設ける</li> <li>○動物園では、ボランティアを行う学生等の活動主体が、自主的に活動できるよう支援する</li> <li>○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が行う多様な活動の支援を継続する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帯広図書館友の会の活動に対するアドバイスの実施。語り手育成講習会の実施</li> <li>○ボランティアによるレコードの分類整理、マッチ箱展の実施</li> <li>○学生のボランティア活動に対する助言等の支援。</li> <li>○各団体への生涯学習情報の提供や各種事務補助、補助金や活動費の支援</li> </ul>
地域の人材の育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用をはかるため情報発信の強化に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市ホームページや SNS の活用による情報発信の強化</li> </ul>

## ⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
計画的な施設整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○とちかちプラザにおけるアトリウム屋上防水補修工事、非常用蓄電池設備改修工事。児童会館における非常用自家発電設備更新工事実施設計委託、プラネタリウム投影機の更新と改修、遊び場（第二講堂）の改修。百年記念館におけるガス強制気化装置修繕、非常用発電機噴射ポンプ修繕、東側外部パネル目地修繕、動物園における第2高圧受電設備更新、給水管更新工事、冷凍庫室修繕、園路整備工事</li> </ul>
適切な管理運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○とちかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスを継続する</li> <li>○図書館では、類似的な業務について、包括的な管理委託が可能か検討する</li> <li>○百年記念館では、利便性の向上をはかるほか、効果性・効率性にも配慮して管理運営をすすめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理者の節減努力による安定した運営の実施</li> <li>○業務の簡素化に向けた見直し</li> <li>○常設展示室及びリウカの wi-fi 環境・アイヌ文化のデジタルコンテンツの整備</li> <li>○魅力アップ方針に基づいた、新しい施設整備の検討。業務委託契約の更新</li> </ul>

	<p>○動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられる取り組みをすすめる</p> <p>○児童会館では、科学展示室での展示やプラネタリウム投影等を行い、学びと遊びの機能の充実に取り組む</p>	<p>○プラネタリウム投影機の更新と改修。新たな遊具の設置</p>
--	---	-----------------------------------

## (6) 人が輝く文化芸術活動の推進

### ⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
市民文化芸術活動の促進	<p>○市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続する</p> <p>○とちかちジュニア文芸文章教室を開催し、読解力・表現力の向上をはかる</p> <p>○市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を継続する</p>	<p>○市民芸術祭、新人演奏会の開催</p> <p>○とちかちジュニア文芸文章教室（詩、小説・童話、俳句）の開催</p> <p>○学校施設の開放事業の実施</p>
文化活動団体の活動支援・指導者育成	<p>○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う</p>	<p>○ホームページなどの活用による文化団体の活動情報の提供。帯広市文化賞等による表彰(3個人・1団体)</p>
文化芸術の鑑賞機会の提供	<p>○市民が文化芸術に直接触れる機会を提供する</p> <p>○市民に芸術の鑑賞機会を提供できるよう、北海道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する</p>	<p>○感染状況に応じた国や道のイベント開催の指針等に従い、感染症対策を行いながらコンサート等の実施</p> <p>○北海道立帯広美術館企画展「水木しげる 魂の漫画展」への参画</p>

### ⑲ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
文化財等の調査・保存・活用	<p>○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う。「八千代A遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組むをすすめる</p>	<p>○十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、史跡標示板の修繕。埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整。重要文化財「八千代A遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成。ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開</p>

アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承をすすめる	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助。伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の実施。アイヌ文化とのふれあいゾーンの形成事業、常設展示室のアイヌ文化モバイルガイドの整備
市史資料収集・保存	○「年史報告書」を作成するとともに、令和4年度の帯広開拓140年、市制施行90年の周年事業をみすえた資料収集事業を行う	○令和2年度「年史報告書」の作成。収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座の実施

## ⑩ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○文化ホールでは、吸収式冷温水発生器の更新、真空遮断器不足電圧継電器の改修。市民ギャラリーでは、展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、非常用バッテリー及び女子トイレ部品修繕
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスを維持する	○文化ホールでは指定管理者の節減努力による安定した運営の実施 ○市民ギャラリーでは管理委託にあたっての効率的な管理、利用者ニーズの把握

## (7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

### ⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
スポーツの振興	○競技大会への優秀選手等の派遣支援やスポーツ賞・スポーツ奨励賞により表彰するほか、市民へのスポーツ観戦機会の提供や各競技団体と協力の上、合宿の受入体制を整備する	○スポーツ賞等による団体、個人への表彰。各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民へのスポーツ観戦機会の提供

スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめる	○スポーツ少年団本部及び帯広市スポーツ協会への支援。スポーツ少年団指導者やスポーツ推進委員の育成等の支援
スケート競技の振興	○地域における各種競技スポーツの競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、大会等の開催を支援する ○スケート競技の普及促進に向けて取り組む	○日本学生氷上競技選手権大会をはじめとする各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリムプロジェクト」の実施。明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放

## ② スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
地域スポーツの振興	○地域でスポーツ活動をする人材や団体の育成を支援する ○学校施設の開放において、学校現場等への感染症の影響に配慮したうえで、市民へのスポーツ活動の場を提供する	○スポーツ推進委員の人材確保及び育成。総合型地域スポーツクラブ運営の支援 ○利用者等に向けて感染予防に関する情報提供をしたうえで、市民へのスポーツ活動の場を提供
スポーツ大会合宿等誘致	○感染症対策を講じて地域の安全を確保したうえで各競技団体と協力して合宿等受入体制の整備をすすめる	○日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会の開催。プロ野球公式戦の有観客による開催。フードバレーとかちマラソン大会のオンライン方式による開催

## ③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広の森スポーツセンター天井塗装改修工事、帯広の森野球場スタンド躯体改修工事、帯広の森陸上競技場フェンス改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（I期）
適切な管理運営の推進	○指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営を実施するほか、老朽化の進んだ施設の計画的な改修とともに、指定管理者との連携による施設の効率的な運営をすすめる	○スポーツ施設における指定管理者制度の導入。パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施